

笑顔で「ありがとう。」

利用者の笑顔を支える ”介護職” 成り手が不足しています

ケアマネジャーは、利用者一人ひとりに合わせた介護サービスを利用するために、各事業所と利用者を繋げる重要な役割を担っています。多くの利用者に関わる仕事であり、苦勞する面はあるものの、利用者のために必死で考えて対応した結果として、笑顔で「ありがとう」と言ってもらえるやりがいと達成感の多い仕事です。

一方、下記アンケート結果のとおり、介護保険では対応できない頼みごとを強要されてしまうなど、虐待・ハラスメントに繋がる内容もありました。介護職の成り手不足が問題である今、市としては地域包括支援センターと連携し、ケアマネジャーの相談にのる体制を整えています。また、埼玉県が行う埼玉県介護職員雇用推進事業を通して介護職の成り手を支援しています。当該事業では、介護職を志す人をさまざまな介護施設などへ派遣し、職業経験を積みながら介護職の成り手を増やす取り組みをしています。利用者の笑顔を支える介護職にぜひチャレンジしてください。

コロナ禍でも頑張っている 市内ケアマネジャーにアンケートを実施しました！

介護職として働くうえでのやりがいや、困ったことについて、日々利用者に関わっている市内の居宅介護支援事業所の人に聞き、多くの意見をいただきましたので、一部紹介します。

Q：やりがいを感じる時は？

- ・利用者の困りごとが改善されたとき
- ・利用者の笑顔や感謝の気持ちにふれたとき
- ・利用者の笑顔が見られたとき
- ・利用者や家族の「笑顔の暮らし」が実現できたとき

Q：利用者に接する際に気を付けていることは？

- ・丁寧な言葉で聞き取りやすく話す
- ・困りごとを傾聴し、しっかり聞き取る
- ・笑顔で対応し、話しやすい雰囲気を作る
- ・目線を合わせてゆっくり話す
- ・自己の体調管理をしっかりする
- ・サービス調整等迅速に対応する

Q：利用者から受けた無理な要求や、ハラスメント

- ・業務の範囲を超える無理な要求があった
- ・精神に負担のかかる無理な要求があった
- ・長時間立たされたまま怒鳴りつけられた
- ・理不尽な罵声や、事業所へのクレームを受けた
- ・無理な要求やハラスメントを受けたことはない

Q：利用者に理解してほしいこと、伝えたいこと

- ・介護保険には「出来ること」と「出来ないこと」が決まっていること

- ・コロナ禍であり感染対策のため、長時間の会話ができないこと
- ・介護保険のサービスに頼り切りにならず、自分で出来るように頑張ることも大切
- ・フレイルにならないように、適度に活動して生活の質を保ってほしい

Q：新型コロナウイルス感染症への対策は？

- ・マスクの着用および手指消毒の徹底
- ・消毒をする際は、相手からも見えるタイミング(ドアが開く時など)に行い、安心してもらえるよう心掛けています

- ・利用者と各事業所を交えて行う会議は、人数が多くならないように参加者の時間をずらす
- ・訪問時間が長ならないように要点を絞って話をする

Q：コロナ禍により負担が増えたことは？

- ・利用者が不安になっているため、身体状況の把握などが難しくなった
- ・大きな声を出せなくなったので、難聴の人とコミュニケーションをとることが大変だった
- ・感染拡大防止のため、消毒を徹底すること

高齢者のための総合相談窓口

○東地域包括支援センター

場 所 幸手市天神島 1030-1 ウェルス幸手内
☎(53)6151・FAX(53)6160
業務時間 午前8時30分～午後5時15分(土曜、日曜、祝日は除く。)

※両センターへの緊急電話連絡につきましては、業務時間外でも受け付けております。

○西地域包括支援センター

場 所 幸手市香日向 4-5-1 旧香日向小学校内
☎(40)3443・FAX(44)0870
業務時間 午前9時～午後5時45分(土曜、日曜、祝日は除く。)

医療と介護の連携や暮らしの健康相談窓口

○北葛北部医師会 地域ケア拠点「菜のはな」(東埼玉総合病院内)

☎(40)1311【代表】、080(9685)3378【携帯】

✉ nanohana@jin-ai.or.jp

受付時間 月曜～金曜日 午前9時～午後5時 ※土曜、日曜、祝日は除く。



いい日 いい日
11月11日は
あったか
介護の日
ありがとう

介護の啓発のため、平成20年に厚生労働省が、11月11日を「介護の日」と定めました。

これを機に、介護やこれからの生活について考えてみませんか。

問合せ 介護福祉課 ☎(42)8438・FAX(43)5600

介護福祉課職員が、百歳を越えるおばあ様と暮らしているご家族(※ケアラー)にインタビューを行いました。

▼おばあ様はどのような人ですか？

自分のことは自分でやるとても頑張り屋さんです。細かい所にも気を配る繊細な面もありつつ、物事に執着しないおらかで可愛い人です。毎朝自分で布団を畳み、お庭でお花を摘んだりしています。

▼凄く活動的ですね！百歳を超えても元氣な秘訣はありますか？

好き嫌いをしないで何でも食べます。特に、うなぎ、コーヒゼリー、アイスを食べるととてもご機嫌です。それと、40年以上大切に続けている趣味があります。

▼何でも美味しく食べてもらえる嬉しいですね！それに長く続けている趣味があると、毎日が

充実しますね。いきいきとして可愛らしいおばあ様ですが、毎日の介護で氣に掛けていることや、大変なことはありませんか？

自分のことは自分でやりたい人なので、お風呂に入る時など、手を貸さないで見守るようにしています。でも、万が一転んだりしないか心配です。また、ポータブルトイレの片付けや、食事の準備、洗濯などをしていてと一日があっという間です。

▼転んでケガをしないか心配ですね。元氣な方の介護となると、ケアラーさんもエネルギーが必要ですね。おばあ様に伝えたいことはありますか？

寝るときに電気を消すと『ありがとう。』と毎日言ってくれます。また、ご飯を食べると『おいしいね。ありがとう。』と言ってくれます。一生懸命生きているのだなと思います。また、百歳を超えてから周

▼みんなでケアについて
考えてみましょう。

この度、厚生労働省が定めた※2介護の日に合わせて市内在住の百歳を超える高齢者のご家族(ケアラー)にお話を伺いました。

家族介護は、「大変そう。自分の時間が取れなさそう。」といったイメージを持つ人がいます。しかしながら、実際にケアラーにお話を聞いてみると、多くの時間をケアに充てる現状があるものの、ケアを受ける側との良好な関係性により、あたたかい時間を過ごせることがわかりました。ケアされる側とする側、お互いがケアについて考える機会として介護の日を迎えてみてはいかがでしょうか。

りに感謝をすることが増えているように見えます。これからも元気に過ごして欲しいです。

※1 ケアラー
埼玉県が定める『埼玉県ケアラー支援条例』では、「高齢、身体上または精神上の障がいまたは疾病などにより援助を必要とする親族、友人その他の身近な人に対して、無償で介護、看護、日常生活上の世話その他の援助を提供する者」とされています。

※2 介護の日
介護を身近なものとしてそれぞれの立場で考え、介護への理解と認識を深め、介護従事者、介護サービス利用者およびその家族を支援すること。また、地域との支え合いや交流の促進を目指して定められました。